

	ご意見	ご意見に対する神戸市の考え方
1	<p>中央図書館より交通の便が良いところにあり、利用者が便利であるにも関わらず、蔵書数が少ないのはおかしいと思います。新しい図書館がどの程度の延べ床面積になるかはこれからの計画次第でしょうが、中央図書館との蔵書量の差を縮めることは必要でしょう。</p> <p>書籍の購入費用は税金から出るものでしょうから、限度はあるでしょうが、プログラミング関係の本は古過ぎると思います。5年前のものになれば、ほぼ使い物になりません。貸してもらう立場ではありますが、5年を越えて10年前のものまで溢れていて、それらの本が使い物にならないと考える同業者はかなり多いと思います。</p> <p>文学関係では、今の三宮図書館はハードカバーのものが多過ぎるので、スペースを有効利用する点から、文庫本中心にするのが良いと思います。</p>	<p>再開発ビル内に設けられる三宮図書館については、今よりも蔵書を増やしたいと考えていますが、独立した建物で100万冊の保存機能を持つ中央図書館とは役割が異なります。</p> <p>本の収集に関するご意見については、今後サービス内容について検討していく際の参考にさせていただきます。</p>
2	<p>私の大好きな図書館のリニューアルに関して、ぜひお伝えしたいことがあります。2018年にリニューアルオープンした釧路図書館へ 行ってきました。地元の方に聞くと 昔の図書館はとても古く、人があまりきていなかったそうです。</p> <p>リニューアル後しか見に行っていないのですが、まずは、できる限り机と椅子がありました。子供のスペースには 子供用の椅子とテーブル。それもカラフルな感じでした。大人たちが読むスペースには 学生の子たちが生きやすいように フリーワイファイはもちろんのこと 机も椅子もできる限り色々な場所にレイアウトしていました。</p> <p>そして、セミナールームみたいな場所もありました。</p> <p>今、神戸では、学生の子たちが 学習する環境がとても少なく感じています。なので、スタバで自習をしている人たちもよく見かけます。未来の子供達に 勉強しやすい環境を ぜひ、作ってあげてほしいと思います。実際に、釧路図書館は リニューアルしてから とても学生の子たちが来て 自習をしていたり 読書を楽しんでいました。</p>	<p>椅子や机、Wi-Fi 環境については、「(仮称)新三宮図書館基本計画案」の基本方針の(1)「快適な読書空間をつくる」というなかで、公衆無線 LAN を使用する席など多様な利用スタイルを用意するとの考え方を示しています。</p> <p>セミナールームについては、同じく基本方針(2)②に「人と人を出会わせる場の提供」として、講座や読書会などができる場所として設置の考え方を示しています。</p> <p>その他頂いたご意見については、今後検討を進める上での参考にさせていただきます。</p>
3	<p>計画案で参考に使われているマルメ市立図書館のような、自然光が差し込むデザインは、本の保存という観点では最悪の選択と思われます。実際、大きく窓を取っている大型書店などでも、窓際の本棚は紙焼けで悲惨な状態になっていることが珍しくありません。</p>	<p>図書館の外観については今後民間業者から提案を受けますが、ご心配の「紙焼け」については既存の図書館での経験もありますので、充分配慮していきます。</p>

4	<p>指定管理制度を活用して、民に委託することも考えて欲しい、「コスト」から「プロフィット」の考えを導入、生活に必要な部門の統合と、喫茶店、本の購入、他、購読者のライフスタイルにあわせて、陳列し、借りる部門、買う部門、そこで過ごす部門と、各趣味・学習に合わせ、部門分けをしてみたらと思っています。</p>	<p>現在の三宮図書館は指定管理者によって運営されています。頂いたご意見については、今後検討を進める上での参考とさせていただきます。</p>
5	<p>結構な案だと思います。ただし、観光情報は、観光協会を紹介すれば済むことであると思います。</p>	<p>上位計画である「新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画」では、新三宮図書館が入る再整備ビル内に、観光案内センターの設置も検討することになっています。それを踏まえ、図書館には観光情報というよりも「神戸の歴史と文化についてのわかりやすい資料を備える」という内容を、「(仮称)新三宮図書館基本計画案」の基本方針(3)で示しています。</p>
6	<p>新三宮図書館基本計画案を読ませていただき、図書館を一つ作り直すのにこれだけの検討が重ねられていることを喜び、新図書館を待つ気持ちが湧いてきます。けれども今回は、新図書館建設だけではなく、三宮の再開発に関わることなので、特に重要視されている面もあるかと思っています。ですから、今後、図書館内のレイアウトが具体的に検討される際、またビルに入った時、図書館の入り口までどのように進むのか検討される際、これまでの議論が十分に活かした計画が出来上がるよう、期待致します。</p> <p>商業施設のように、図書館もオープンしたばかりは人が集まると思います。「日本一美しい」とはどんな図書館だろうと。でも、図書館の機能から言って、そこで本を探したい、本を読みたいと思ひ、人々が何度も足を運びたい、そして足を運びやすいことが大切なので、コンセプトにある「美しい図書館」があまり先走りしないようにと思います。また、ビルの設計については何も知識もないので、可能かどうか分かりませんが、図書館の天井の高さは、商業施設のそれとは異なるものだと思うので、その点の考慮は必ずしていただきたいと思います。それが、書架などのレイアウトにもつながるかと思っています。</p> <p>また、子どもと本の関わりについて、私がボランティアとして感じるのは、幼児期の大変感性の高い時期に、本と親しめる環境に接してもらいたいということです。そのためには、親御さんも本と親しむのが良いです。ですから、児童書コーナーに、おはなし会ができるような部屋があればいいという思いの他に、親子で他の人に気兼ねせずに本を読めるような二三人掛けのツールが絵本の書架の端にでもいくつか置かれていると素敵だろうと思います。図書館の児童書コーナーには数人がけのテーブルなどがよく置かれていて、「子ども専用」と書かれていますが、そういうテーブルは小学生位の子が読書するには向いているものの、読んで聞かせてあげるのが大切な幼児とその親にとっては使いにくいものではないかと感じています。</p> <p>大まかな希望と具体的な希望が、混じっておりますが、これを私の意見とさせていただきます。</p>	<p>ご指摘の利用者の動線については、今後、充分検討してまいります。</p> <p>「美しい図書館」についての考え方は、「(仮称)新三宮図書館基本計画案」基本方針(1)に示しているとおりです。気軽に立ち寄れる雰囲気と、上質な雰囲気を兼ね備えた読書空間をつくります。天井の高さは開放感ともつながりますので、重要であると認識しています。</p> <p>基本方針(4)に、親子で読み聞かせが楽しめるスペースを設けることとしています。ツールなどのご意見については、今後の検討の際の参考にさせていただきます。</p> <p>おはなし会ができる部屋の必要性は認識していますが、今後、民間業者により規模等が提案された後の検討課題と考えています。</p>

7	<p>内装に植木や中庭を作るなどくつろげる空間とカフェなど併設していただければ嬉しいです。</p>	<p>「(仮称)新三宮図書館基本計画案」基本方針(2)に示すように、屋上庭園の有効活用を検討しますが、カフェの併設についてのご意見も併せて、再整備ビル全体の魅力向上という観点から、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
8	<p>新三宮図書館基本計画(案)を読ませて頂きそれで私の個人的な考えを述べます。 まず全体のイメージがとして図書館をやや異次元的な感じにしたいとレトロ調な雰囲気や19世紀の洋館(異人館)を連想するデザインにするのはどうでしょうか。全体の色調を茶系と白を中心に照明も暖色系に備品もそれに合わせた感じにする。昼間は窓からの自然光を上手に利用し、夜には夜景と照明の効果が適切にマッチング出来たら良いと思います。</p> <p>児童図書コーナーは一般図書コーナーと分離させ児童が自由にのびのび本に接する様な空間を作り、童話中のお城の内部をイメージするデザインでキャラクターをあまり使わないのが良いと思う。読み聞かせ用の空間も可愛らしく児童がわくわくするような感じが欲しい。</p> <p>眺望のあるブックラウンジの様なくつろぎの広い空間を作る。特に夜などは海や山の夜景を眺める事が出来れば素晴らしい。本を読むためだけでなくこの場所に行きたいと思わせる雰囲気が欲しい。静かな会話は出来るように、蓋つきの飲み物もOKにする。素晴らしいラウンジがあれば喫茶室は必要無いと思う。飲み物(蓋つきの紙コップが良い)も対人販売でなく自販機でラウンジ内にさりげなく設置されていれば良い。椅子や机の配置は眺望を活かす様にしたい。眺望は、図書館には絶対必要なものではないかもしれないが心な和み気持ちが良い。当然、本は図書館内部の本が自由に読め、本棚もあり新聞、雑誌、趣味やスポーツ、旅行、神戸市の観光案内などの本も置いてあれば本をあまり読まない人や観光客も楽しめる。</p> <p>閲覧室は静かな空間としてラウンジとは離して設置してほしい。眺望もあるには越したことはないが絶対ではない。朗読、読書会、その他会議用の10人~20人程度の小部屋も欲しい。そして周りの利用者の迷惑にならない様、防音する。Wi-Fiは当然使える様にする。出来るだけ来館者すべてに読書ができる様に本棚付近にはすぐに使える椅子を置き 空きスペースには雰囲気に合った椅子とテーブルを配置する。</p> <p>大まかな考えはこんな感じですが、要するに利用者目線で設計してほしい。最後に、これだけの図書館を作るとなると準備も大変で重要です。そして館長をこの図書館に相応しい有能な人にするべきでそのためには全国に公募し早めに決めておく必要があると思います。運営も指定管理では無理ではないでしょうか。市の直接的な運営を希望します。</p>	<p>新三宮図書館の外観や内装については、今後、民間事業者から具体的な規模等も含めて提案があります。頂いたご意見は今後の検討の際の参考にさせていただきます。</p> <p>眺望の良い席、読書のための静かな空間やWi-Fi、椅子については、「(仮称)新三宮図書館基本計画案」基本方針(1)に考え方を示しています。</p> <p>会議等ができる小部屋については、同じく基本方針(2)のセミナー等を開催する部屋としてお示ししています。防音機能については今後の検討材料とします。</p> <p>その他、頂いたご意見については、神戸市に対する意見として参考にさせていただきます。</p>

9	<p>滞在型の図書館を希望します。老若男女、とくに若者も集える図書館スペースの設置をお願いしたい。現代人は仮想空間で時間を多く過ごしているように思える。今後はその傾向が加速するのは容易に想像出来ます。実態ある文化的な空間で時間を過ごすことで、少しでも人間味ある生活を体感することが現代人の感性の矯正と刺激になるのではないのでしょうか。図書館はそれを担っています。</p>	<p>「(仮称)新三宮図書館基本計画案」基本方針(1)に示すように、美しく快適な読書空間を提供し、市民の皆様起居心地よく使っていただきたいと考えております。</p>
10	<p>新図書館には知と情報の海に誘う船の役割を果たしていただきたく期待している。エントランスではなくゲートウェイとしたところに意気込みを感じる。神戸を訪れる方全てが利用対象となる立地であり、三宮地区に限らず他の地域に住む神戸市民も対象とするのであるから、単に地区館という立ち位置ではその役割を果たし得ない。関係各位には外観だけではなく図書館としての「美しい」を実現してもらいたい。</p> <p>バスターミナルに図書館の一部を展開することは大いに歓迎。展示やお知らせに留まらず、最小限でも図書館機能を有し上階図書館へつなげる働きを期待する。バスの行き先の情報を乗客に提供、行き先バスターミナル等への返却ポストの設置、バスへの返却は斬新なアイデア。是非ともバス会社の協力を取り付けていただきたい。</p> <p>ゲートウェイと銘打ったからには、徹底的に情報につなげてほしい。利用者の求める情報を有する人、場所、機関へつなげていくレフェラルサービスを利用者に浸透させてもらいたい。基本計画に示されている図書館像は素晴らしい。屋外スペースの利用にも期待が膨らむ。実現のために以下のことをお願いしたい。</p> <p>1、神戸市の直営に。新三宮図書館に求められる働きは中央図書館に匹敵するもの。指定管理業者の能力を超えたものである。神戸市の政策決定に参加しえない館長では、行政の全体像を知る立場になく、ゲートウェイの役割を完全に果たすことは見込めない。行政各機関と密接に連絡を取り、中央図書館と一体となって神戸市全体の中での位置を確保し、利用者の求める情報源につなげていくのはこれまでの地区館の枠では実現しない。</p> <p>2、交流スペースの確保を。図書館が本の貸し借りに留まらないサービスをする上で必須である。図書館主催の講演会や学習会、住民主体の読書関連イベント、セミナーなどを開催するために少なくとも人数に合わせた2種類の部屋が必要。現在は勤労会館を利用しているが新図書館ではどうするのか。共用であっても図書館が優先的に使えるスペースを確保してもらいたい。</p> <p>3、仮設図書館の運営方針を早く決定してほしい。5年間の仮設状態はかなりの長期間であるのでこれまでの図書館と利用者の絆が途絶えないように、現在の利用者が図書館から離れていかないように十分対策してほしい。どのような考え方で仮設期間を過ごすのか方針を早めに出してほしい。</p>	<p>図書館主催の講演会や学習会、交流のためには、「(仮称)新三宮図書館基本計画案」基本方針(2)に示すように、セミナー等を開催する部屋を考えていますが、数については、全体規模をみた上での今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>仮設図書館については、現在、場所等を検討中です。</p> <p>その他、頂いたご意見については、神戸市に対する意見として、参考にさせていただきます。</p>

<p>11</p>	<p>少子高齢化し、適正にシュリンクしていく社会環境の中、神戸の魅力を発信していく場としてください。そのために、100万冊の中央図書館との連携だけでなく、各区図書館ともネットワーク形成し、交流人口の多い三宮が結節点となり、図書館ネットワーク全体として、神戸のブランド交流拠点・神戸のまちづくり交流拠点となることを望みます。</p> <p>神戸市内の蔵書数が近隣市に比べて少ないため、単純に蔵書数だけのビジネス支援では弱いのので、ビジネス支援やダイバシティに対応する新たな選書が非常に重要と考えます。東灘と同等や事業の中できめた面積でなく必要な蔵書数(えりすぐりの選書)に応じて、図書館面積を決定してください。人と資料だけでなく、人と人をつなげるビジネス支援を希望します。</p> <p>待合だけでなく、開かれた交流するスペース(知の広場)が神戸らしい装いであるといのでは。ブックカフェや集客施設ではなく、図書館であること。利益を誘導しない活動施設であることを望みます。都市的な場所をイメージした待合空間だけでなく、神戸の地域らしさを望みます。各区の地域特性など神戸の魅力を紹介したスペースや待合もあってもよいのでは(例えば、海、山 温泉などがあります)</p>	<p>神戸市立図書館は、現在も中央図書館と10の地域図書館の間でネットワークを形成しており、新三宮図書館もそのネットワークの中に入ります。</p> <p>図書館規模については、新三宮図書館が再整備ビルの中に設けられることから、民間事業者等の意見も伺いながら、ビル全体の魅力を高めるという観点で検討していきます。</p> <p>各区の地域特性など神戸の魅力を紹介したスペースについては、「(仮称)新三宮図書館基本計画案」基本方針の(3)「神戸の歴史と文化、居場所としての魅力を紹介」という考え方を示しています。また、神戸ブランド交流拠点というご意見について、この基本方針の(3)に、「本の形に限らない地域情報」の1つとして「神戸ブランドの紹介」というキーワードを加えます。</p> <p>その他頂いたご意見については、神戸市に対する意見として参考にさせていただきます。</p>
<p>12</p>	<p>閉館時間の延長(22時頃まで、仕事帰りの社会人でも勉強できるように。平日も土日も閉館時間を同じに。)</p> <p>電子書籍の充実。24時間、365日、ネットで蔵書を読めるように。</p> <p>十分な勉強空間、読書空間。自動貸出機の充実(利用できない書籍が多すぎる。) 利用者のマナー向上</p>	<p>開館時間については新図書館開館までまだ相当の年月があることから、今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>電子書籍については現在実証実験中ですが、方向性としては、「(仮称)新三宮図書館基本計画案」基本方針の(2)に示した通り検討してまいります。</p> <p>勉強空間、読書空間については、同じく基本方針の(1)に示した通り、多様な利用スタイルを想定して検討します。</p> <p>また、基本方針の(4)に示した通り、貸出手続きや返却手続きの自動化を検討してまいります。</p>

13	<p>神戸の顔である三宮の町が大きく変わろうとしている今、図書館も新しくなるとのこと。より居心地の良い図書館になるように、市民の意見を広く吸い上げていただきたいと思います。が、あまり関心のない市民が多いような気がします。</p> <p>今の三宮図書館は、三宮駅前の一等地にあるのですが、敷地が狭いのが難点かと思います。通勤帰りの方も多く利用され、市外の利用客の皆さんにも引き続き利用していただけるような神戸が誇る人間味あふれる温かい図書館にしていきたいと思います。それとともに、地域のおじいちゃんおばあちゃん、お子さんなども気楽に入れるような敷居の低い明るい図書館であって欲しいです。三宮駅前のあのごちゃごちゃとした雰囲気も、私は好きですので、それが全くなってしまうことに寂しさも感じています。せめて図書館は誰でも気楽に入れる場所であって欲しいです。大変なことでしょうけれど、皆さんと力を合わせて頑張りましょう！ よろしく願いいたします。</p>	<p>今後、事業の進捗に伴い、より具体的なサービス計画などの検討が必要となりますので、市民の意見を今後も聴取しながら検討を深めていきます。</p> <p>「(仮称)新三宮図書館基本計画案」基本方針の(1)に示した通り、気軽に立ち寄れる雰囲気と、上質な雰囲気を兼ね備えた空間を目指します。また、新しい三宮図書館は、再整備ビルの中に設けられますので、利用者の方々が来館しやすい動線や雰囲気については今後充分検討してまいります。</p>
14	<p>閲覧席はもちろんですが、自習席も設けていただきたい。 開館時間を10時より早めて、せめて9時には開いていただきたい。 各種配布資料を、もっと見やすく陳列していただきたい。</p>	<p>座席については、「(仮称)新三宮図書館基本計画案」基本方針の(1)に多様な利用スタイルを用意するとして考え方を示しています。</p> <p>開館時間については新図書館開館までまだ相当の年月があることから、今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>各種配布資料についてのご意見は、神戸市へのご意見として参考にさせていただき、現在の三宮図書館にも伝えます。</p>
15	<p>三宮という土地柄、コンセプトにも含まれているように神戸らしさが求められる。昔からの神戸らしさは、今まで収集された資料を大いに活用してアピールしていただきたい。</p> <p>問題は、これから数十年、この新三宮図書館が背負わなければならない神戸らしさである。将来の多様な変化に対応して実験、実証できるような可変的な構造で、図書館の専門家によって検討・試算されたスペースを確保してもらえたらありがたい。</p> <p>新三宮図書館は、神戸市立図書館全体の広告塔的な役割もある。また、中央図書館の出城のような存在で、市全域に関わることも多く、中央図書館のコントロールの元にあるのが自然な形であると思われる。そのような形であってこそ、今後神戸市立図書館が挑戦していく課題をクリアするのに、新三宮図書館の力が発揮できると思う。</p>	<p>整備検討会でも意見が出た、将来の多様な変化に対応できるような可変的な構造については、「(仮称)新三宮図書館基本計画案」第7章の「新しい図書館に求められる規模」の項目に、「図書館内部の設えは、将来の多様な変化に対応可能な可変的な構造が望ましい」という文章を加えます。</p> <p>新しい三宮図書館は、神戸市11館の図書館ネットワークの中で、中央図書館の調整の元、運営してまいります。</p> <p>その他頂いたご意見は、今後検討を進める上で参考にさせていただきます。</p>

16	<p>西区に住んでいるので、先に西図書館の基本計画(案)について意見を送りました。その後、この三宮図書館基本計画をみました。この2つの基本計画を見て、手法は同じなんだな、と思いました。それぞれ、区の立地状況と図書館の現状、アンケートの実施と結果報告、検討会の立ち上げ、視点→コンセプト→規模と機能といった具合です。</p> <p>この三宮図書館が決定的に西区と違うのは、都心であること＝三宮という商業、交通の要所にあるということです。同時に進めようとしているエキマチ空間、バスターミナル計画と一体のものであり、図書館はあくまで付属、あまり大きな声で主張できない計画ではないかと危惧します。なぜなら神戸市がめざす三宮再開発はそれこそバスに乗り遅れるな、と東京や大阪をライバル視するだけで、神戸の独自の、神戸らしさを発揮する都市づくりを志向するようには見えないからです。</p> <p>コンセプトである「美しい知と情報のゲートウェイ」というのが何を指すのか、言葉に酔っているだけで具体的な中身がありません。少なくともターミナルビルの1期の整備の中に組み込まれるなら、機能性は追及できても「美」はむずかしいのではないのでしょうか。あまりに玄関口、を意識するためあれもこれもと、総花的になっているような気がします。あくまで主体は神戸市民ですから、市民が利用しやすい図書館としての機能を絞り込むべきだと思います。</p> <p>最後に、開館時間はできれば午後10時くらいまで延長できないでしょうか。仕事帰りに調べ物をしていく、読みかけの本を一気に読了する、そんな知的空間としての図書館も必要だと思います。</p>	<p>「(仮称)新三宮図書館基本計画案」において、コンセプト「美しい知と情報のゲートウェイ」の内容を、6つの基本方針で説明しています。</p> <p>開館時間については、新図書館開館までまだ相当の年月があることから、今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>その他頂いたご意見については、神戸市に対する意見として参考にさせていただきます。</p>
17	<p>世界一美しい図書館のコンセプトはとても良い。ただ、三宮図書館は地下鉄や阪急、JRから少し遠い。そのため、図書館が20階以上にあるとフラッと寄りにくい。エレベーターが混雑して、図書館まで行くのに時間がかかるとなると更に利用者は不便になる。直通エレベーターを作るなどして、アクセスが悪くならないようにしてほしい。</p>	<p>再整備ビル内での位置はまだ決定していませんが、利用者の動線については、アクセスがしやすいように十分検討してまいります。</p>

18	<p>昨年までは図書館(地元の北区の図書館)をよく利用していましたが、その中で何度も図書館員の対応に不愉快な思いをしたり、困惑・当惑させられたりしましたので、新三宮図書館にはハード面だけでなく、ソフト面も十分充実していただきたい。基本的に図書館員の方の中には自分たちがサービスを提供していることを理解していない人が多いように感じます。もっと民間企業が持っているサービス精神やおもてなしの精神を学んで学んだことを現場で発揮してもらいたい。</p> <p>アンケート結果で表れているように、勉強のしやすい環境であったり、ビジネスでも利用できる環境、くつろぎやすい環境作りを目指してもらいたいと考えます。しかし、「くつろぎやすい」と言っても個人により、くつろぐ易い環境の定義が異なるので、ある程度カテゴリーを決めて「家族連れが入りやすい空間」、「勉強したい人が集中できる空間」、「ビジネスマンが利用しやすい空間」などアレンジした空間を複数作ってもらいたい。</p> <p>あとは電子図書も対象にした蔵書としてもらいたいし、国際都市神戸にふさわしく洋書も充実してもらいたいです。あと、中央区以外の人間でも気安く三ノ宮図書館を利用できるようなインターネット環境の充実であるとか、電車・駐車場代の補助があればさらにうれしいです。</p>	<p>アレンジした空間の複数設置については、「(仮称)新三宮図書館基本計画案」の基本方針(1)に示したとおり、多様な利用スタイルを用意するとしていますが、具体的には、今後、民間業者により規模等が提案された後の検討課題と考えています。</p> <p>電子書籍や洋書、インターネット環境については、「(仮称)新三宮図書館基本計画案」の基本方針(2)に示している通り、検討してまいります。</p> <p>その他頂いたご意見については、神戸市に対する意見として参考にさせていただきます。</p>
19	<p>ネットの神戸新聞の記事で図書館のイメージについての記事を見ました。かつ「ガラス張りの図書館なんて作ると本が焼ける」というツイッターでのどなたかのコメントを見て、同感だと心配しています。また、ツイッターの別コメントで「太陽による本へのダメージは、貸出による摩耗のため、本の寿命を4年と設定しているので問題なし」というのも見ましたが、図書館の本はそういうものなのでしょうか…。</p> <p>ガラス張りの空間はオープンではありますが、そのために本が傷んだり、夏・冬の日射や冷え込みを、空調をガンガン効かせてまで、図書館で実現しないといけないデザインかな…と思います。地元の書店ジュンク堂は窓などなくても多くの本があって楽しいし、ステキな憩いの空間は本を置いていない場所でも作れるのでは…</p> <p>基本計画の例としてあったマルメ市や南魚沼市の図書館などの本がどうなっているかもよくわかりませんが、ツイッターのコメントを見て心配になっただけなのですが、意見を募集していると知って、書かせていただきました。本の傷みや空調の心配が杞憂で問題ないということでしたら、どこかでまたそれを広報していただけると安心します。よい図書館ができるのを楽しみにしています。よろしくお祈りします。</p>	<p>神戸市立図書館として、本の寿命を4年と設定してはしません。</p> <p>ただ、ツイッターのコメントの通り、本の寿命という点では、太陽光線によるダメージよりも、やはり貸出中の間の水濡れや汚破損などのほうが影響が大きいのは事実です。</p> <p>新しい三宮図書館の外観については今後民間業者から提案を受けますが、ご心配の「本が焼ける」という点には十分配慮します。</p>

20	<p>①絵本の配架について 絵本も、他の本同様、著者名順を希望します。三宮図書館では、現在、題名順ですが、同じシリーズを探すのは、とても苦労します。また、他館で、出版社別のところもありますが、同じ著者でも、出版社が違う場合もあると探しにくいです。</p> <p>②おはなしの部屋について 大人の利用者に迷惑にならない、孤立した部屋でのおはなし会が望ましいです。たとえば太子町図書館のように。</p> <p>③幼い子(ハイハイしかできない子)も、安心して親子で利用できる場所について 土足ではなく、靴を脱いで、寝転んでも大丈夫な場所がほしいです。たとえば加西市立図書館のように、幼い子向きの絵本が、幼い子が手にできるように。</p> <p>④子供(幼児)専用の空間について どうしても、子供(幼児、乳児、小学生)は保護者と一緒の来館となり、いろいろな話をしなくてはならないと思います。他の大人の利用者に迷惑にならないようにもしないといけないので、できれば子供用受付、子供用空間が必要となります。たとえば太子町図書館のように。</p> <p>⑤トイレの配置について 現在三宮図書館では、専用のトイレがないため、本を選んでいる途中にもよおす子供もいるので、灘図書館のように、図書館内にトイレがあればいいと思います。また、おむつ替えもあればなおのこといいでしょうし、授乳室もあればたすかることでしょう。</p> <p>⑥アンケートにあまり出ていない意見について どうしても、現在利用している人の意見が多くなっていることと思いますが、これからの将来を考えれば子供たちにたくさん利用してもらえればと思います。子供たちが利用できるということは、その保護者にも使いやすい図書館となります。今は使いにくいので色々な意見が上がってないことと思います。ビジネスマン、観光で利用されている方は、立地の面からアンケートも書き易いでしょうが、子供利用は、子供自身がアンケートを書けるわけでもないし、保護者からの意見も出にくいことと思いますが、将来を担う子供たちのことを良く考えて、善処されることを切に願います。</p>	<p>おはなし会ができる部屋や子供専用の受付場所、「こどもトイレ」等の必要性は認識していますが、今後、民間業者により規模等が提案された後の検討課題と考えています。</p> <p>親子で利用できる空間、また授乳室については、「(仮称)新三宮図書館基本計画案」基本方針の(4)に、設置の考え方を示しています。</p> <p>その他頂いたご意見については、今後検討を進めていく上で参考にさせていただきます。</p> <p>今後の事業進捗にともない、市民の皆様からご意見を聴取しながら検討を進めていきますが、保護者の方が意見を言いやすい方法について考えてまいります。</p>
21	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館は市民が静かに本を選び、時にはゆっくり本を読むスペースです。 ・新しくできる図書館は老若男女いつでもほしい本が手に取れる→検索もしくは案内してもらえるように。図書館からいろんな発信もほしいです ・運営を「民間にゆだねる」という話をききました。今年夏、私は武雄図書館へ見学に行きました。T SUTAYAの本屋さん、コーヒーショップが前面にあり、借りたい本は円形の本棚に並べられて取り出しにくいところがありました。いくつかの小さな部屋に研究している子(勉強している)人がいましたが、数が足りないように思いました。民間経営はコスト優先です。市立図書館にふさわしくありません。 	<p>「(仮称)新三宮図書館基本計画案」の基本方針(1)には、静かな読書のみ可能な席を始め、さまざまな目的を持って来館する利用者に快適な空間をつくるという考え方を示しています。</p> <p>また基本方針(4)にはさまざまな人々のアクセシビリティの確保を目指すことを示しています。図書館からの情報発信の必要性については十分認識しています。</p> <p>その他頂いたご意見については、神戸市に対する意見として参考にさせていただきます。</p>